

## 自己評価報告書(最終報告)

コース等名

社会系コース

記載責任者

立岡 裕士

### ■平成25年度の目標に対する自己点検・評価

#### I. 学長の定める重点目標

##### I-1. 教員就職率向上方策について

本学は第二期中期目標・中期計画において、「学士課程において教員就職率を70%以上にする」と明記している。教師を目指す学生が一人でも多く自己の進路希望を実現できるよう、この数値目標を達成するのはもちろんのこと、より一層教員就職率を上げるため、貴専攻・コースではどのような取り組みを行うか。具体的な方策を示してほしい。

#### 1. 目標・計画

社会系ではこれまでも就職支援室の活動を補完する形で、中学校社会科を中心とした模擬授業・集団討論などを行っている。今年度もこうした活動を継続する予定である。

#### 2. 点検・評価

計画通り中学校社会科を中心とした模擬授業・集団討論などを行った。  
社会系学部卒業生(大学院進学者を除く)11名のうち教員就職者は8名であった。

## Ⅱ. 分野別

### Ⅱ－1. 教育・学生生活支援

#### 1. 目標・計画

教育については、基礎的な力・認識の涵養に主眼を置き、授業や修論・卒論指導はもとより可能な限り多くの機会に、学生が自ら問いを立てそれを解くべく調べ考えるような指導を行うよう心がける。そのために、教育内容・教育方法について各教員が個別に検討するとともに、FD活動など各自の認識や工夫を共有できるような場を設ける。

学生生活支援については、従来通り、社会系コースの教員が全体として学生に注意を払い、修学はじめ学生生活の諸側面において支援を要する問題があれば適切に対処できるようにする。

#### 2. 点検・評価

修学支援やFD活動などにおいて、目標通りコース全体の問題として活動することができた。

### Ⅱ－2. 研究

#### 1. 目標・計画

社会系コースにおける研究体制に特に大きな問題はないと考えられるので、本年度も昨年度と同様に、社会系コースの教員各員がその研究活動を滞りなく進められるような体制を維持することに努める。研究のベースとなる研究予算の配分方法や利用方法などについて問題が感ぜられれば速やかに対処する。

#### 2. 点検・評価

目標通り進めることができた。

## Ⅱ－3. 大学運営

### 1. 目標・計画

例年通り、各種委員会や入試業務(学部および大学院)その他の大学運営に関わる業務をコースとして分担するにあたり、一部の教員に負担が集中することのないよう配慮しコース教員全体で協力して当たることに努める。

### 2. 点検・評価

目標通りに業務の配分が行われた。

## Ⅱ－4. 附属学校・社会との連携, 国際交流等

### 1. 目標・計画

附属校との連携を緊密にし、相互の支援が継続的に行えるようにする。  
公開講座・免許更新・教員十年次研修・教育支援アドバイザーなどの各種講座・講習を通して社会との連携をより緊密にする。  
社会系コースに受け入れた留学生に対し、十分な学習や研究ができるような環境の整備を行う。

### 2. 点検・評価

附属校(特に社会科担当教員)とは教育研究発表会・教育実践フィールド研究をはじめとした種々の機会に、研究・教育両面で密接に連携した。  
公開講座・免許更新・教員十年次研修・教育支援アドバイザーなどの各種講座・講習は予定通りに実施された。  
社会系コースに受け入れた留学生に対しては、指導教員を中心に教育・生活の両面での支援をはかった。

### Ⅲ. 本学への総合的貢献(特記事項)

大学運営のために副学長2名を供出した全学的事業にも委員を出した。